

施策名：スポーツによる地域の元気づくり

事業名	担当課・室名	ページ
スポーツ交流地域活力創出事業	芸術文化スポーツ振興課	1 / 3
おおいたスポーツ成長産業化モデル事業	芸術文化スポーツ振興課	2 / 3
ラグビーワールドカップ開催準備事業	ラグビーワールドカップ2019推進室	3 / 3

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成30年度)

事業名	スポーツ交流地域活力創出事業	事業期間	平成28年度～平成30年度	政策区分	スポーツの振興	
				施策区分	スポーツによる地域の元気づくり	
総合評価	<b>A</b>	継続・見直し	事業実施課(室)名	芸術文化スポーツ振興課	評価者	芸術文化スポーツ振興課長 高屋 博

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県内では現在3つプロスポーツチームが活動しており、スポーツを「みる」・「ささえる」などのスポーツ文化が定着しつつある。また、スポーツ施設など優れた地域資源のさらなる活用が求められている。	事業の目的	スポーツ文化の確立と県民スポーツの振興を図るため、プロスポーツ等の高度で質の高いスポーツを活用し、県民がスポーツに親しむ機運醸成を図る。
-------	---	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①スポーツ振興広報事業 県民がスポーツを応援する機運を醸成するため、県のスポーツ振興の取組をPRする動画を制作・放映	①	10,183	総コスト	26,084	25,667	25,730
②プロスポーツ県民ふれあい交流事業 プロスポーツ選手による小学校や地域イベントへの訪問等、県民がプロスポーツに触れる機会を提供する取組を実施(3チーム合計56箇所訪問)	②	6,455	事業費	23,084	22,667	22,730
③県民DAY開催事業 ホームゲーム開催時に県民DAYを開催し、多くの県民がホームゲームに足を運び、プロスポーツを応援する機会を拡大(3チーム合計6回)	③	6,092	(うち一般財源)	23,084	22,667	22,730
	④		人件費	3,000	3,000	3,000
	計	22,730	職員数(人)	0.30	0.30	0.30

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(30年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(30年度)	評価割合	評価	
	PR動画放映回数(回)	目標値		40	40	40		40	45%	県民DAY開催状況(回)	目標値	6	6			6
実績値			40	40			実績値	6			6					
達成率			100.0%	100.0%			達成率	100.0%			100.0%					
学校等訪問回数(回)		目標値		40	40	56	56	28%		目標値						
		実績値		52	56					実績値						
		達成率		130.0%	140.0%					達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果
学校等訪問での交流人数(人)	目標値		3,120	3,360	3,360	3,360	a	交流事業の訪問先から「指導してもらって子どもたちのプレーに変化が現れた」や「プロの選手との交流が夢を持つきっかけになった」という感想が寄せられるなど、スポーツに親しむ機運醸成が図られた。
	実績値		3,575	4,019				
	達成率		114.6%	119.6%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
・より多くの県民がプロスポーツチームとの交流を図る場を拡充	今後の事業方針 ・新たに医療施設等にも訪問し、幅広い年齢層の県民にプロスポーツチームとの交流を図る場を提供				

# 事務事業評価調査

(事業実施年度：平成29年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成30年度)

事業名	おおいたスポーツ成長産業化モデル事業		事業期間	平成29年度～平成31年度		政策区分	スポーツの振興	
						施策区分	スポーツによる地域の元気づくり	
総合評価	<b>B</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	芸術文化スポーツ振興課		評価者	芸術文化スポーツ振興課長 高屋 博	

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	国は、『日本再興戦略2016』で掲げる「スポーツの成長産業化」に向けて、スタジアム・アリーナを核とした街づくり・地域活性化の実現を目指しているが、大分トリニータの観客動員数は近年頭打ち状態にあることから、ラグビーワールドカップ2019も好機として、新たな観客層を大分銀行ドームに呼び込み、スタジアム及び地域経済の活性化を図ることが求められている。	事業の目的	大分銀行ドームと大分トリニータのホームゲームをモデルに、より多くの観客に喜んでもらうためのスタジアムのあり方について調査研究を行うとともに、県内自治体や商業・観光業等と連携を図り、スポーツを通じた交流人口の拡大と地域経済の活性化に資する取組を実施する。
-------	---	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①スポーツの成長産業化に向けた市場調査 スポーツの成長産業化に不可欠なスポーツ観客増に向け、魅力的で収益性を有する施設への転換を図るための現状把握調査を実施 ②魅力あふれるスタジアム環境整備 大分銀行ドーム利用者の満足度向上及び観客増に資するため、集中利用が可能なWi-Fiを活用した体験サービスを試験的に提供	①	11,155	総コスト		31,674	3,178
	②	7,016	事業費		17,674	1,178
	③		(うち一般財源)		9,196	1,178
	④		人件費		14,000	2,000
	計		18,171	職員数(人)		1.40

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(31年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(31年度)	評価割合	評価
	県外集客成功チーム及びスタジアム調査(回)	目標値			2	2			61%	目標値					
実績値				2			実績値								
達成率				100.0%			達成率								
Wi-Fi体験サービスの機会提供(回)		目標値			3			39%	目標値						
		実績値			3				実績値						
		達成率			100.0%				達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(31年度)	評価	事業の成果
大分スポーツ公園利用者数(千人)	目標値			1,220	1,220	1,220	b	調査の結果、今後大分トリニータが取り込む必要があるターゲット層や、スタジアムを訪れる観客の満足度を向上させるためのポイントが把握できた。
	実績値			1,088				
	達成率			89.2%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
・調査結果を活かし、大分銀行ドーム利用者の増加や県内観光振興等に繋げる取組の実施	今後の事業方針 ・大分トリニータ観戦客の満足度を向上させるソフト対策(グッズ等商品など)の研究及び実施 ・大分銀行ドーム周辺商業施設及び県内観光業者との連携構築 ・スポーツイベント開催時における大分銀行ドーム利用者の駐車場確保及び交通輸送体制の確立				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成30年度)

事業名	ラグビーワールドカップ開催準備事業		事業期間	平成27年度～平成31年度		政策区分	スポーツの振興	
						施策区分	スポーツによる地域の元気づくり	
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	ラグビーワールドカップ2019推進室		評価者	ラグビーワールドカップ2019推進課長 高橋 強	

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	ラグビーワールドカップ2019大分開催に向けて、開催準備の着実な実施に加え、競技普及や県民の機運醸成が求められている。	事業の目的	ラグビーワールドカップ2019大分開催成功に向け、子ども達へのラグビー普及や機運醸成のためのイベント開催を通じて、地域の元気づくりを図る。
-------	---	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①ラグビーワールドカップ2019大分県推進委員会負担金	①	57,315	総コスト	1,189,702	1,204,956	563,856
(1) 広報・イベント ・One Rugby, One Oita大作戦、大会2年前イベント、トップリーグ等の実施 ・メディア広報、広報グッズ作成、シティドレッシング等の実施 ・ラグビー競技普及、フィジー高校生を招いた国際交流試合の実施	②		事業費	1,149,702	1,054,956	393,856
(2) 観光・おもてなし ・ボランティア募集に向けた講演会開催等	③		(うち一般財源)	1,122,770	678,637	
(3) 交通輸送 ・交通輸送基本計画の策定	④		人件費	40,000	150,000	170,000
	計	57,315	職員数(人)	4.00	15.00	17.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(31年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(31年度)	評価割合	評価
	One Rugby, One Oita大作戦回数(回)	目標値		24	60	60			50	100%	目標値				
実績値			58	64			実績値								
達成率			241.7%	106.7%			達成率								
目標値							目標値								
実績値							実績値								
達成率							達成率								

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(31年度)	評価	事業の成果
	One Rugby, One Oita大作戦参加者数(人)	目標値		16,000	32,000	90,000		
実績値			30,009	83,762				
達成率			187.6%	261.8%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会開催準備の着実な実施</li> <li>ボランティア募集やチケット販売にあわせた更なる機運醸成</li> </ul>	今後の方向性	終了 <b>継続・見直し</b> 例外的に継続 廃止
		今後の事業方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>31年度のラグビーワールドカップ2019大分開催に向け、大会を支えるボランティアの募集・育成、交通輸送実施計画やファンゾーン運営計画等の各種計画策定など、具体的かつ着実な準備の実施</li> <li>大会に向けた節目に合わせ、メディア広報やシティドレッシングなど、大会機運醸成の取組を拡充</li> </ul>